

令和4年度 こども園における自己評価 八尾市立南山本せせらぎこども園

4:十分達成している 3:ほぼ達成している 2:検討を要する 1:改善を要する

項目	内容	評価	備考欄
教育・保育目標について	・目標の具体化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか	4	
	・目標は、各施設や地域の特徴を生かしているか	4	
	・目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか	4	
	・目標は、前年度の反省を活かしながら全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか	4	
教育・保育内容について	・指導計画は、教育保育計画に基づき作成しているか	4	
	・毎月の指導計画は、乳幼児の実態に即して作成しているか	4	
	・月ごとに指導計画の評価・見直しをし、その結果を指導計画に反映させているか	4	
	・1日の流れ（ディリープログラム等）は、前日の評価をもとに日々改善に努めているか	4	
	・行事のねらいに沿った計画を立て、適切に実施しているか	4	
	・幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく援助・支援を適切に行っているか	4	
	・自主性や主体性を重んじて生活習慣が身につくようにしているか	4	
	・子どもの姿を見取り、興味関心に応じた教育・保育を行っているか	4	
	・子どもの発達や成長につながるよう環境の構成や援助の工夫をしているか	4	
	・同僚性を発揮し、保育のねらいや育てたい力を話し合い実践しているか	4	
	・素材・用具を適切に活用しているか	4	
	・保育サポートのための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮しているか	4	
	・子どもの人権に十分配慮し、互いに尊重する心を育てているか	4	

項目	内容	評価	備考欄
健康・安全について	・食育を通して、子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫しているか	4	・コロナ禍で、地域や関係施設と災害等に備えて避難の仕方を共有する等連携を取ることは難しかった。
	・食物アレルギーは、個別に配慮して食事を提供しているか	4	
	・年齢に合った保健対策（発育・発達の把握、SIDS予防、感染症対策等）を講じているか	4	
	・健康・安全な生活に必要な習慣や態度が身につくよう取り組んでいるか また家庭への啓発を行っているか	3	
	・避難訓練や交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか	4	
	・乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか	3	
職員 の 資 質 向 上	・職員の研修ニーズを把握し、職員に必要な研修機会を確保しているか	4	研究、研修の参加者は受けた内容を保育に活かしているが、他の職員と共有する機会があることで園全体の保育の質の向上に繋がると考える。
	・研究主題は、教育・保育目標の具現化につながるものであるか	4	
	・研究・研修の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか	4	
	・各種研究会、研修会、講習会での内容を園内に還元しているか	3	
職員 運 営 管 理 に つ い て	・職務内容や相互の連携に必要な情報の共有方法が明確で、協働できる体制になっているか	4	
	・職員を適材適所に配置し、係や仕事の分担が能率的に行える組織になっているか	4	
	・各種会議や打合せを適切かつ効率的に進めているか	4	
	・職員は公務員としての責務や職場での立場を理解し、協力を惜しむことなく施設の運営にかかわっているか	4	
	・運営改善の課題について把握し、計画的な取り組みを行うとともに、定期的に検証・見直しをしているか	4	
守 秘 義 務 の 遵 守	・乳幼児や保護者に関する個人情報などを適正に取り扱っているか	4	
	・公文書收受、発送、処理を適切に行っているか	4	
	・各表簿は、適切に作成、処理しているか	4	

項目		内容	評価	備考欄
開かれたこども園づくり	施設・地域との交流や連携	・他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか	4	・コロナ禍で、地域に出向く機会をなかなかつくるができなかった。
		・地域の様々な人と触れ合う中で、乳幼児が楽しく過ごし、充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか	4	
		・担当者同士が、事前打ち合わせや活動の振り返りを行い、互惠性のある交流になるように工夫しているか。	4	
		・合同研修や授業・保育の見学を通して互いの教育・保育に対して理解を深めているか	4	
		・乳幼児の興味や関心に基づいて地域の施設等を利用し、保育に活かしてしているか	4	
		・地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか	3	
		・子育て支援機関と情報共有しながら、連携をとっているか	4	
	子育て支援	・施設を開放し、地域の親子が遊べる場や機会の提供を行なっているか	4	
		・職員による「育児に係る子育て相談」は充実しているか	4	
		・医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか	4	
		・一時預かり保育の利用者にとって安心できる場になるよう努めているか	4	
	情報の発信	・園だよりやクラスだより、ホームページ等で教育・保育内容を発信し、理解をしてもらうよう努めているか	3	・保護者アンケート結果で園方針や子どもの様子がわかりにくいという意見を受けた。
		・地域の連絡会等でこども園の取り組みを発信するとともに、地域施設の事業について知り、教育・保育の充実に役立っているか	4	
	外部評価	・第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか	3	・コロナ禍で園外の方を招くことができなかったが、次年度は、第三者委員さんに園の様子を見ていただきご意見をいただく機会をもちたい。
・地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか		4		
施設・設備	・施設内外の設備や遊具の安全点検を計画的に行っているか	4		
	・遊具や用具等を、活用しやすいように整理、保管しているか	4		
	・災害や不審者等に対応する整備を行っているか	4		
	・掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか	4		
経理出納	・各種会計を適正かつ適切に処理しているか	4		

成果

- ・園内研究のテーマである「それいいね！」「やってみよう！」子どもの思いに寄り添って みんな安心 みんな笑顔のこども園”に向けて、子どもが認めてもらうことで安心し、自ら遊びを展開していきたいと思える環境を整えていくことで更なる遊びへ発展できるよう、また保育者が子どもの思いを実現できるように前向きに捉えていくことを心がけた。また、その事で、クラスまたは園全体で子どもが何事にもチャレンジする姿が見られ、その気持ちを保育者や友だちが支えることで信頼関係ができ、色々な場面で子どもたちが達成感を味わう姿へと繋がった。
- ・保育者は、個人の自己評価表をつけることで子ども理解など日頃の自分の言動について振り返るきっかけになり、実践面でその後の意識の改革に繋がったことが表から読み取ることができた。
- ・去年度から始まった在宅家庭への一時預かり保育では登録者数が年間100名程おり、利用者から子育ての悩みや不安の相談を受けたり、就園に向けて情報提供をしたりすることで在宅親子の子育てを支える役割を担っていた。
- ・地域の関係施設や園内での異年齢の交流を感染予防対策をしながら少しずつ再開し、人との交流により子どもたちの豊かな経験に繋がった。また、近隣の小学校へ園内研究会を案内することで参加していただき、こども園の保育や子どもの様子を知っていただく機会になった。

課題

- ・研究、研修で学んだ内容を参加者以外の職員にも伝え、全体で共有して保育に還元する。
- ・保護者から園方針や子どもの様子がわかりにくという意見があり、改善を要する。
- ・コロナ禍で取り組むことができていなかった保育活動を再開し、子どもたちの経験を広げていく。
(地域や他の施設との情報共有と継続した交流、クッキング保育、異年齢交流、大勢で集う行事)

改善策

- ・学習会に参加しやすいように数回に分けて行い、園全体で伝達事項を共有したり学びを深めたりする機会をつくる。また年間を通して保育者の資質向上ができるよう計画的に学習会を行う。
- ・園方針や子どもの様子を玄関モニターやホームページで細目に更新したり、おたよりや掲示板で知らせたりして保護者にわかりやすく伝えていく。
- ・感染状況をみながら園内外の行事や交流の計画を立て、充実した経験に繋げていく。
- ・地域連携コーディネーターを中心に近隣の施設などへ交流を提案し、継続して交流ができる機会をつくっていく。